

第37号踏切と第38号踏切における、
踏切監視要員の「確認喚呼」の実行状況
(2005年6月10日～2005年10月1日の調査結果)

「確認喚呼」(「指差呼称」も同じ意味です)とは、状況を指差し声を出して確認する動作のことで、鉄道の現場では安全確認の「基本中の基本」とされています。

踏切保安の場面では、列車が通過して遮断機を上げようとするとき(上がり始めたとき)他に踏切へ接近してくる列車が本当はないかどうかを確認することが、これに該当します。

東武鉄道は、今回の死傷惨事が発生した翌日から踏切が自動化されるまでの間、本社要員を安全確認要員として、交代で第37号踏切と第38号踏切へ派遣していました。

彼らの「確認喚呼」の実行状況が以下のような状況で、東武鉄道がそれまでの遮断機早上げ防止装置に代わる機械的保安装置の必要性を最後まで認めなかった(人間の注意力のみで再発防止が可能との見解を貫き通した)安全管理体制に正当性があつたと言えるのかどうかを、考えてみていただきたいと思ひます。

- * 「踏切名と位置」欄は、当該係員が立っていた踏切番号と、その東西の別を示します。東は上り線側(東武鉄道社内での通称「海側」)、西は下り線側(同「山側」)です。
- * 係員に精神的負担を与えないため、一般の通行人としての立ち居振る舞いの範囲で社員証の氏名等を確認できた分についてのみ、表にまとめました。
- * 調査日と時刻が不規則なのは、踏切を渡って出かける必要が生じたときにだけ、そのついでに観察していた程度に過ぎないためです。

その1・2005年6月分

日付	時刻	天候	踏切名と位置	監視係氏名	所属	確認喚呼の実行	備考
6/10(金)	15:10	雨	38西	松本	電気部電力課		
6/12(日)	13:35	曇	37東	久保田	運輸企画課	×	
6/13(月)	11:10	晴	37西	高橋	車両部管理課	×	
6/22(水)	15:05	曇	37東	名札不着用	不明	×	
"	15:30	"	37西	川田	車両部車両課	×	
6/23(木)	13:35	曇	37西	青木	運輸部運転課	×	
"	14:05	"	37東	越野	土木課		
6/24(金)	9:50	晴	37西	宮本	工務部管理課	×	
"	15:05	"	37東	岩崎	電気部信号通信課	×	
6/26(日)	12:40	晴	37西	高橋	営業部営業企画課		
"	13:30	"	38東	安積	電気部電力課	×	
6/28(火)	13:30	晴	37西	飯田	(失念)		
"	14:40	曇	37東	大川	車両部車両課	×	
6/29(水)	16:10	曇	37西	武沢	?部管理課	×	*1
"	16:20	"	38西	横田	工務部保線課		
6/30(木)	14:00	曇	37西	君塚	電気部電力課	×	
"	14:25	"	37東	谷口	営業部審査課	×	

*1 社員証の一部がネクタイに隠れていて確認できず。

6月調査分での「確認喚呼」実行率

5 / 17 = 29.4%

第37号踏切と第38号踏切における、踏切監視要員の「確認喚呼」の実行状況

その2・2005年7月分

日付	時刻	天候	踏切名と位置	監視係氏名	所属	確認喚呼の実行	備考
7/2(土)	14:20	曇	37西	小林	工務部管理課	×	
"	"	"	37東	桑原	車両部車両課	×	
7/5(火)	17:45	曇	38東	小暮	建築課	×	
"	18:05	"	37東	武井	(失念)	×	
7/6(水)	9:15	雨	37東	名札不着用	不明	×	* 2
	11:00	"	38東	"	"	×	* 3
7/7(木)	12:25	曇	37東	湯沢	工務部管理課	×	
"	13:10	"	37西	名札未確認		×	* 4
7/10(日)	13:50	曇	37西	増田	運輸部運転課	×	
"	15:10	"	38東	小早川	運輸部運転課	×	
"	"	"	38西	矢野	工務部	×	* 5
7/12(火)	15:45	曇	37東	藤沼	営業部営業企画課	×	
7/14(木)	13:15	曇	38西	増田	工務部	×	* 5
"	13:45	"	37東	但木	工務部?課(失念)	×	
7/15(金)	15:25	晴	37東	宮本	工務部管理課	×	
"	15:50	"	37東	山本	営業部開発宣伝課	×	
7/24(日)	16:10	曇	37西	小野	電気部管理課	×	
"	16:45	"	37西	谷口	(失念)	×	
7/25(月)	14:15	晴	37西	木村	運輸部運転課	×	
"	14:55	"	37西	川田	車両部車両課	×	
"	16:45	"	38西	菱沼	営業部営業企画課	×	
7/28(木)	11:05	晴	38西	飯塚	営業部審査課		
"	"	"	38東	木下	工務部建築課	×	
"	20:05	曇	38西	鈴木	工務部建築課		
7/31(日)	9:50	曇	38西	高橋	車両部車両課	×	
"	"	"	38東	山本	営業部開発宣伝課		

* 2 社員証を雨具の内側に着用している可能性あり。

* 3 踏切開放時に踏切監視の交番表を見ていて、周囲の状況を確認していなかった。

* 4 遮断機降下時に渡り切れそうになかった松葉杖の歩行者を、列車通過まで中州部分で保護していた。

* 5 社員証に所属課名の記載なし。

7月調査分での「確認喚呼」実行率

3 / 26 = 11.5%

第37号踏切と第38号踏切における、踏切監視要員の「確認喚呼」の実行状況

その3・2005年8月分

日付	時刻	天候	踏切名と位置	監視係氏名	所属	確認喚呼の 実行	備考
8/1(月)	6:10	曇	38東	小林	工務部管理課	×	
"	7:00	"	38西	横山	(失念)	×	
8/5(金)	15:55	晴	37東	川島	電気部信号通信課	×	
8/8(月)	9:40	晴	38西	小野	電気部管理課	×	
"	"	"	38東	武沢	工務部管理課	×	
"	10:30	"	37西	市村	営業部CSサービス課	×	
8/16(火)	16:25	晴	37西	村山	工務部建築課		
"	16:40	"	38西	山野井	(失念)	×	
8/22(月)	12:30	晴	38西	大東	(失念)		
"	13:35	"	37東	京極	運輸部管理課	×	
8/31(水)	15:50	晴	37西	服部	車両部車両課		

8月調査分での「確認喚呼」実行率

3 / 11 = 27.3%

その4・2005年9～10月分

日付	時刻	天候	踏切名と位置	監視係氏名	所属	確認喚呼の実行	備考
9/2(金)	13:35	晴	38東	正田	電気部電力課	×	
9/4(日)	10:45	曇	38西	但木	工務部?課	×	
"	11:10	"	37西	小林	電気部信号通信課	×	
"	"	"	37東	湊	工務部建築課		
9/8(木)	16:00	晴	37西	井上	(失念)		
9/14(水)	14:00	晴	38西	新井	工務部土木課	×	
"	14:40	"	37東	山内	営業部営業企画課		
9/23(金)	15:15	晴	38東	飯田	電気部管理課	×	
"	16:35	"	38西	早川	運輸部運輸企画課	×	
9/26(月)	11:25	晴	38東	菱沼	運輸部運輸企画課	×	
"	11:35	"	38東	京極	運輸部管理課	×	
"	15:20	"	38東	久間田	営業部営業企画課	×	*6
9/28(水)	14:00	曇	38東	瀧澤	運輸部運輸企画課	×	*6
9/29(木)	13:10	晴	37西	池田	運輸部管理課	×	*6
"	15:45	"	"	多賀谷	?部管理課	×	*6
9/30(金)	16:25	曇	37東	田中	運輸部運転課	×	*6
10/1(土)	14:35	晴	37東	不明		×	*6、7
"	15:15	"	"	成島	運輸部運輸企画課	×	*6

*6 列車が接近してくる方向ではなく、踏切対面の接近表示器(矢印の滅灯)を指差確認していた(接近表示器の故障による滅灯の可能性がゼロではないことを考えると、安全を確認したことになるとは認めがたい)。

*7 風があったためか、社員証をワイシャツの胸ポケットにしまっていた。

9～10月調査分での「確認喚呼」実行率 $3 / 18 = 16.7\%$

調査期間全体(6月10日～10月1日)での「確認喚呼」実行率 $14 / 72 = 19.4\%$

記事

第38号踏切は24日(土曜日)、第37号踏切は29日(木曜日)のそれぞれ始発から自動化。自動化後は「東武ビル管理」所属の警備員(終日)と本社要員(10月初めまでの日中のみ)による警備となり、それまでの踏切保安係の姿は見られなくなった。半沢が観察していた限りでは、10月1日を最後に、本社要員の姿は確認されていない。

以上